

は BIH (国際報時局) が関係天文台と協議して決定すること。またこの値はセシウム原子周波数標準の周波数が 9, 192, 631, 770 c/s とする時間尺度で表現されること。

iii) 標準電波の秒信号は 1 秒間隔のイムパルス繰返しから構成され、その示す時刻は世界時 UT 2 から大略 100 ms の範囲に保たれること。またこの秒信号を調整する場合、その幅は丁度 50 ms の倍数とし、関係発信局全部が一斉に行なうこと。

iv) 各発信局の標準電波の周波数偏差は  $5 \times 10^{-10}$  を越えないこと。

今度の 11 月 1 日の処置はこの勧告の線に沿ったものである。なお 1962~63 年とも  $-130 \times 10^{-10}$  であった off-set 値は、1964 年に対しては  $-150 \times 10^{-10}$  にすることに決定された。つまり今年 1 月 1 日 0 時 UT を期して、報時信号の歩度は昨年値からみると 1 日当り約 1 万分の 2 秒遅れに調整される。そして今度のような秒信号調整は、ここ当分しないですまされるはずである。

(飯島)

#### 国際電波科学連合第 14 回総会の第 5 分科会 (電波天文)

昨年 9 月、東京高輪のプリンスホテルを会場として、国際電波科学連合第 14 回総会が開催された。総会は 9 日の開会式、10 日から 19 日にかけての分科会、20 日の閉会式と約 2 週間にわたって開かれ、またこの間に東京天文台、空電研究所、電波研究所等の見学会も行なわれ

た (第 1 分科会については昨年 11 月号雑報参照)

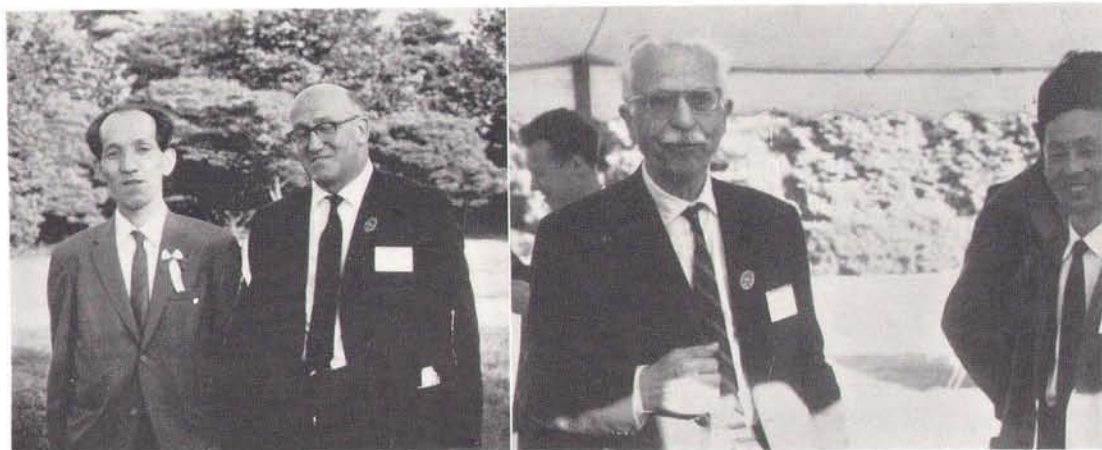
電波天文学に関する第 5 分科会では次の session が開かれた。

- |      |  |                   |
|------|--|-------------------|
| 10 日 | Radio Astronomy of the Galaxy            | (座長 Westerhout)   |
| 12 日 | Radio Astronomy of Discrete Sources      | ( # Ryle)         |
| #    | Quiet Sun                                | ( # Christiansen) |
| 16 日 | Observational Technique and Measurements | ( # Blum)         |
| 17 日 | Active Sun                               | ( # 畑中)           |
| 18 日 | Radio Astronomy of the Solar System      | ( # Haddock)      |
| 19 日 | Radar Astronomy その他                      | ( # Christiansen) |

また 11 日の夜 van der Pol 記念講演として今年のメダリスト Ryle が大電波望遠鏡について講演した。

各 session ともに、まず最初に上記の Chairman が約 1 時間の総合講演を行ない、その後多数のコメント、それに関連して討論が行なわれた。今回の総会では特に目新しい話題というものはなかったが、電波の発生機構、光学的観測その他との関連その他について、イメージがはっきりし、また論点が明らかになってきたように思われる。またアメリカ、ソ連、イギリスといった大国に限らず、各国が大電波望遠鏡の建設にとりかかっている様子がうかがわれた。

(河崎)

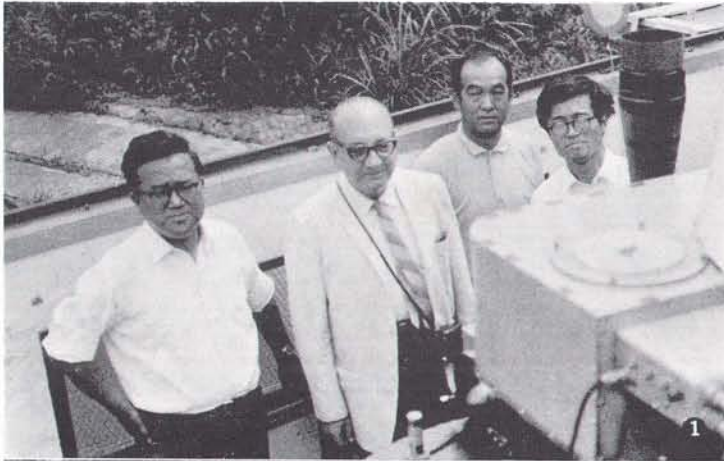


#### ◇海外天文学者の来訪 (1)

昨年 9 月の国際電波科学連合 (略称 URSD) の総会に

来日、三鷹天文台の見学会に訪れた学者達、1 はエッセン式水晶時計で知られる英国立物理研究所のエッセンと広瀬台長。2 はバリ天文台のストイコと大沢清輝教授。

◇海外天文学者の  
の来訪 (2)



1 は昨年9月 IAU と URSI 連合の太陽・地球委員会の会議に出席の Jaccia (スミソニアン天文台), 9月3日三鷹のシュミットカメラ室にて左より古在, ヤキヤ, 松本, 平山の諸氏。

2 は URSI の総会の際の見学会で三鷹を訪れた オハイオ州立大学の Ko 教授 (左から2人目) の一行を



むかえる畑中教授ら。3 は9月20日東京高輪プリンスホテルにおける URSI 総会での憩いの一時、左より Adelsberger (ドイツ物理技術研究所) Essen (前頁出) 飯島夫人、計量研究所の狐崎、カナダの Henderson の諸氏。

4 は同所で左よりフランスの Lochard, バリ天文台の Stoyko, 飯島夫人, フランスの Mourier 嬢, フランス無線通信所の Decaux。





## ◇海多天文学者の来訪 (3)

—岡山へ—

1 9月下旬 岡山天体物理観測所の本館前にて、左より広島大の村上忠敬、ミルマン、ヴァン・ウルデン、大沢、石田の諸氏、2 は観測所食堂にて左ヴァン・ウルデン、右ミルマン、3 観測所展示館にて。

